

NEDO 量子懸賞金事業 2025 解決案募集スクリーニング採択者

解決案 ID	チーム名	課題 ID	懸賞課題
S0001	チーム ソルト	S-1	送配電網の最適化
S0099	Jij/Q-CTRL	S-1	送配電網の最適化
S0005	LE BIN HO	S-2	発電量向上のためのソーラーパネルの配置最適化と太陽電池の材料探索
S0011	GX を Quantum の力で	S-2	発電量向上のためのソーラーパネルの配置最適化と太陽電池の材料探索
S0068	ActLab（アクトラボ）	S-2	発電量向上のためのソーラーパネルの配置最適化と太陽電池の材料探索
S0024	Post-CAE	S-4	実用的 C A E への量子アルゴリズムの適用検証
S0030	チーム KvN	S-4	実用的 C A E への量子アルゴリズムの適用検証
S0045	Fluid-Q	S-4	実用的 C A E への量子アルゴリズムの適用検証
S0012	三菱ケミカル_慶應_EPFL チーム	S-5	量子コンピュータのロボット制御への適用
S0014	KDDI 総合研究所 AI 部門	S-5	量子コンピュータのロボット制御への適用
S0028	群集合ロボット研究	S-5	量子コンピュータのロボット制御への適用
S0086	ダイセー量子推進プロジェクト	S-5	量子コンピュータのロボット制御への適用
S0096	株式会社 NexaScience	S-5	量子コンピュータのロボット制御への適用
S0021	SB_KQCC_SFC 他_災害対策チーム	S-7, S-8	災害時の最適な救助・避難ルートシミュレーション / 災害の事前検知、災害予測シミュレーション
S0017	NV 学習センター	S-8	災害の事前検知、災害予測シミュレーション
S0033	未来明察	S-9	サプライチェーンのレジリエンス向上
S0051	藤海産・豊洲市場	S-9	サプライチェーンのレジリエンス向上
S0023	〈Classiq SoftBank〉	S-10	次世代エアモビリティ向け無人航空機の大規模飛行管理技術開発
S0106	Q-MOBILITY-AI	S-10	次世代エアモビリティ向け無人航空機の大規模飛行管理技術開発
S0038	toyosu QX	S-11	物流ルート最適化を通じたコスト削減と環境負荷低減
S0091	ダイセー量子推進プロジェクト	S-11	物流ルート最適化を通じたコスト削減と環境負荷低減
S0098	Jij-ssmy	S-11	物流ルート最適化を通じたコスト削減と環境負荷低減
S0007	NEQO Challenge! > (^・ω・^=)~	S-13	量子コンピュータによるシミュレーションを活用した汚染物質の光分解のプロセス解明
S0020	SB_KQCC_UEC 他_量子 AI チーム	S-14	ネットワークシステム品質の向上
S0004	最先端研究開発支援センター	S-15	量子コンピュータ時代に適応した Web3.0 トークン経済と次世代ブロックチェーン技術の構築
S0018	Q-Chainners	S-15	量子コンピュータ時代に適応した Web3.0 トークン経済と次世代ブロックチェーン技術の構築
S0022	Q-Anchor	S-15	量子コンピュータ時代に適応した Web3.0 トークン経済と次世代ブロックチェーン技術の構築
S0026	e-Net	S-15	量子コンピュータ時代に適応した Web3.0 トークン経済と次世代ブロックチェーン技術の構築
S0040	DAQQ(Decentralized Archive for Quantum Quality)	S-15	量子コンピュータ時代に適応した Web3.0 トークン経済と次世代ブロックチェーン技術の構築
S0044	シンプレクス株式会社	S-15	量子コンピュータ時代に適応した Web3.0 トークン経済と次世代ブロックチェーン技術の構築

S0053	Soriton Lab	S-15	量子コンピュータ時代に適応した Web3.0 トークン経済と次世代ブロックチェーン技術の構築
S0073	ALDNOAH.QUANTUM	S-16	AI quantum-computing Scientist
S0095	Team Quantum AI Scientist	S-16	AI quantum-computing Scientist
S0116	格物至知	S-16	AI quantum-computing Scientist
S0027	せとうちから量子の世界へ	S-17	カーボンニュートラルに貢献する車体構造の最適化技術
S0025	Quantum Flash Boy	S-18	量子技術を用いた金融商品の価格・リスクのリアルタイム計算
Q0006	新谷正嶺、折野昌世	Q-1	生物学的な多様性（個人、細胞等）を考慮した疾患の進化および病態進展のシミュレーション
Q0069	Quantum RareRx Catalyst	Q-3	有効な治療方法がない疾患の創薬に向けた量子コンピュータの活用
Q0100	< The Matter >	Q-3	有効な治療方法がない疾患の創薬に向けた量子コンピュータの活用
Q0104	塩野義製薬株式会社	Q-3	有効な治療方法がない疾患の創薬に向けた量子コンピュータの活用
Q0063	EntangleBrain	Q-4	量子コンピュータによる知的活動支援
Q0003	JIN-Q	Q-5	超高速生体情報解析法の開発
Q0065	FutureQRNA	Q-5	超高速生体情報解析法の開発
Q0046	DIY Biology Lab.	Q-6	多剤耐性感染症治療プロトコル設計のための量子計算アルゴリズムの開発
Q0062	森さんだいすきクラブ	Q-6	多剤耐性感染症治療プロトコル設計のための量子計算アルゴリズムの開発
Q0109	Q4Health：グローバルヘルスのための量子技術	Q-6	多剤耐性感染症治療プロトコル設計のための量子計算アルゴリズムの開発
Q0039	Q-RARE	Q-7	量子連合学習を活用したプライバシー保護型医療データ統合手法開発
Q0031	Team Quantum Care	Q-8	訪問看護最適化システムの構築
Q0002	プロジェクト K	Q-9	量子技術を活用した次世代型献立計画システムの開発
Q0083	ダイセー量子推進プロジェクト	Q-9	量子技術を活用した次世代型献立計画システムの開発
Q0107	日本栄養大学 社会的供食最適化プロジェクトチーム	Q-9	量子技術を活用した次世代型献立計画システムの開発
Q0037	チャイルドリーム	Q-10	量子コンピュータによる双方向型動的教育教材・学習方針（能力測定のためのテスト問題含む）の機械生成
Q0043	GenGee de Bon	Q-12	量子技術を用いた人生シミュレーションとウェルビーイング向上
Q0102	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	Q-12	量子技術を用いた人生シミュレーションとウェルビーイング向上
Q0105	QUBO のある暮らし	Q-12	量子技術を用いた人生シミュレーションとウェルビーイング向上
Q0111	QoL Quantum Lab	Q-12	量子技術を用いた人生シミュレーションとウェルビーイング向上
Q0054	有機分子の安定結晶構造予測	Q-13	原子の空間配置最適化シミュレーションによる有機分子の結晶構造予測システムの開発
Q0061	Q-Pharma Lab	Q-13	原子の空間配置最適化シミュレーションによる有機分子の結晶構造予測システムの開発
C0066	Q-Tech-Gaming	C-1	量子コンピュータを利用した革新的ゲームシステムの検討
C0058	Quest I (クエストアイ)	C-2	量子コンピュータによるゲームバランス最適化
C0034	FlyingGA	C-4	漫画・アニメーション制作に活用する量子拡散モデル
C0070	Qrazy Qreators	C-4	漫画・アニメーション制作に活用する量子拡散モデル

C0077	ダイセー量子推進プロジェクト	C-4	漫画・アニメーション制作に活用する量子拡散モデル
C0036	TEAM STEAM	C-8	量子計算機を用いた占いによる量子駆動文化体験の実現（NISQ に見いだす「侘び寂び」と「もののあはれ」と「Cool Japan」）
C0029	ShioN	C-12	量子技術を活用した次世代音楽体験の創出
C0052	Dr. Children	C-12	量子技術を活用した次世代音楽体験の創出
C0067	EntangleTune	C-12	量子技術を活用した次世代音楽体験の創出
C0087	楽素 （がくそ）	C-12	量子技術を活用した次世代音楽体験の創出
C0110	Q-Wave	C-12	量子技術を活用した次世代音楽体験の創出
C0113	Qharmonics	C-12	量子技術を活用した次世代音楽体験の創出
C0072	ZEN 大学 物理同好会	C-13	量子もつれマッチングアプリによる幸福度の向上
C0013	三菱ケミカル_慶應_ASU チーム	C-16	量子コンピュータを用いた化学・素材産業におけるサーキュラーエコノミーを実現するための多目的最適化
C0032	SHARP/QunaSys	C-16	量子コンピュータを用いた化学・素材産業におけるサーキュラーエコノミーを実現するための多目的最適化
C0059	morim	C-16	量子コンピュータを用いた化学・素材産業におけるサーキュラーエコノミーを実現するための多目的最適化

※上記は応募者より頂いたチーム名をそのまま記載しており、チーム名に関して生じる、いかなる損害について事務局では一切の責任を負いかねます。